

三浦市議会議員

いしざき 遊太

ゆうた



編集・発行 石崎 遊太 / 令和6年4月発行 / 三浦市南下浦町上宮田1422-4 / 080-4733-4115

令和6年度予算審査を終えて

2月～3月にかけて行われる定例会では例年、次年度の予算を審査する予算審査特別委員会が設置されます。予算は“政策の数値化”という側面もありますから、予算の審議は政策の審議にほかなりません。今回、私は同委員会の委員として指名をいただき、令和6年度予算審査の過程で行政に直接質疑が行える立場となりました。これだけ重要なポジションを務めさせていただく以上、『予算審査は初めてだから…』などという言い訳は許されません。家事も育児もほとんど妻任せっきりの状態で、予算資料や関連計画の読み込みにひたすら没頭する日々が続きました。審査に臨んだ結果として至らない部分もありましたが、この経験を必ず次に活かします。

今回成立した予算を土台として走り始めた令和6年度の三浦市政ですが、執行状況については責任を持って追っていきたいと思います。

議員生活2年目を迎えます

昨年の三浦市議会議員選挙から、あっという間に1年が経過しました。あの時私を信じて票を投じてくださった1,960人の市民の皆さんにあらためて感謝する一方で、その期待に応えられているのか自問自答を重ねる毎日です。謙虚な気持ちを忘れず、万里一空の精神で励んでまいります。

とにもかくにも、年4回の定例会や各種イベントへの参加を含め、議員としての基本的な年間行事を一通り経験したことになります。これまで先輩方が築いてきた議会としての歴史や考え方を大切にしながら、新しい提言なども行ってきました。年齢や期数にこだわることなく、そういった私の姿勢を受け入れながらさまざまなご教示をくださる議員・議会事務局の皆さんにも感謝しながら、飛躍の1年にしていきたいと思います。

— こんな取り組みを継続しています —

“シェアオフィスTIME”
を設けています！



三浦海岸のBAYSIDE SHAREにて、週2回ほどの頻度でいつでもお話しできる時間を設けています。曜日や時間は毎週変動するため、日曜日にSNSにて告知しております。

選挙後も毎週、
駅立ちを行っています！



毎週水曜日、朝7時～8時半ごろまで三浦海岸駅の駐車場付近に立ってご挨拶させていただいている。お気軽に声がけください。※雨天時や議会日程によっては中止or延期

活動の振り返りを行い、
ブログで公開しています！



毎週日曜日には1週間の活動の振り返りを行なっています。また、ご挨拶した方や相談を受けた内容をコンタクトシートにまとめ、毎月はじめに件数などを公開しています。

議場外での普段の活動こそ、
議員としての真価が問われる部分だと考えています！

みうらみらいラボ 会員募集中



みうらみらいラボは、代表であるいしざき遊太との対話を行いながら、会員同士で「三浦の今と未来について考え合う」ための政治団体です。詳細および入会のお申し込みにつきましては、左の2次元コードよりご確認ください。ご連絡いただければ紙の申込書もお届けします。



PROFILE -プロフィール-

ゆうた
いしざき 遊太

HP、各種SNSなどは
こちらからどうぞ！！
過去のみうラボReportも
HPにアップしています。



1991年4月生まれの33歳。幼馴染の妻とともに、やんちゃ盛りな娘（1歳）の子育てに奮闘中。上宮田小羊保育園→上宮田小学校→南下浦中学校→県立横須賀高校→慶應義塾大学総合政策学部卒。2022年7月に約7年間勤めた大手食品メーカーを退職し、三浦市へUターン。地域活動に取り組む。2023年4月の市議会議員選挙にて、1960票の得票を賜り当選。

質問の全体像

私が行った令和6年第1回定例会における一般質問の項目は、下記のとおりです。

1 三浦市障害者福祉計画

- (1)前計画からの主な変更点と現状把握
- (2)相談支援体制の強化
- (3)グループホームの整備

2 市職員の人事行政

- (1)人事評価制度の現状と課題認識
- (2)働き方改革への取り組み
- (3)採用活動への取り組み
- (4)ハラスメントの状況と対策

3 市ホームページのリニューアル

- (1)背景と意図
- (2)リニューアル後の検証
- (3)運用方針と今後

今回も取り上げたいテーマが多く、質問と答弁を合わせて約1時間20分ほどの長丁場となりました。質問や答弁の全文については、私が文字起こししたものをブログに掲載しておりますので、下記の2次元コードからご覧ください。こちらの資料ではそれぞれの項目について、私の質問の意図や要望の概要を文章で整理したいと思います。

コチラの2次元コードより
発言全文をご覧になれます



いしざき遊太 ブログ



三浦市障害者福祉計画

障害者福祉計画とは、障害者基本法第11条第3項に基づく『市町村障害者計画』として、障がい者政策全般に関する基本的な考え方や方向性を定めたものです。三浦市では障害者総合支援法第88条に基づく『障害福祉計画』および児童福祉法第33条の20に基づく『障害児福祉計画』も一体の計画として定めています。中長期的な障がい者支援政策の土台にあたる重要な実施計画なわけですが、このたび計画期間が終了するため、あらたな素案が示されました。前計画との変更点を中心に確認しつつ、三浦市における障がい者福祉の課題認識をり合わせました。

以前から課題であった**相談支援事業とグループホーム**については、独立した項目として取り上げました。相談支援については、三浦市の計画相談利用率はおおむね100%と充実している一方で、増加する相談件数に現場が疲弊しているとの声も耳にしていました。グループホームも数自体は増加したものの、重度の障がいをお持ちの方へのニーズにはまだまだ対応できていない状況です。

吉田市長が繰り返し述べている『**あったかいまち**』の実現のために、障がい者福祉は欠かせない政策領域だと考えています。引き続き積極的な取り組みを求めてまいります。

発言の中での主な要望

1. 視覚障がい者への情報環境整備
2. 児童発達支援の質の向上
3. 教育領域での心のバリアフリー推進
4. “合理的配慮”についての積極的な啓発
5. 同計画におけるPDCAサイクルの明確化
6. 相談支援事業への財政支出を含めた支援
7. サービス提供事業者間の連携強化

市職員の人事行政

市が効果的な政策を立案し、適切な行政サービスを提供するためには、職員一人ひとりが高いモチベーションをもって働く環境が必要になります。当然ながら庁内的人事制度が重要になってくるわけですが、過去の一般質問であまり取り上げられてこなかったことが意外に感じました。そこで今回は**人事評価、働き方改革、採用、ハラスメント対策**という4つの切り口を軸に、現在の人事行政における取り組みと課題認識を探りました。

2001年に国から始まった公務員制度改革の波は、当然ながら三浦市にも及びました。民間の論理をそのまま当てはめればいいような簡単な話ではないことは重々承知しながらも、**民間企業出身の議員だからこそできるこれまでにない視点での質問や、可能な限り具体的な提言**を心掛けました。

特に、基本的な人事制度の方針である『三浦市人財育成・活用基本プラン』が17年間も更新されていない状況は、市の人事戦略としては適切でないと考えます。改善を求めるところ、今後改定を行っていく予定であるとの前向きな答弁がありました。職員の働き方改革については、テレワークの継続実施や時短勤務、時差出勤といった柔軟な選択肢が拡充していることもわかりました。

今後も公務員の人材獲得競争は激化していくことが予測されます。採用の強化はもちろん、熱い気持ちを持って頑張っている職員が**生き生きと働ける人事制度**を確立してもらうべく、継続的に追っていきたいテーマです。

発言の中での主な要望

1. 人事考課の手当への反映（非管理職）
2. 三浦市人財育成・活用基本プランの更新
3. 残業の事前申請における形骸化の是正
4. DXにおける業務効率化の推進
5. 即戦力となる社会人経験者採用の強化
6. ハラスメントに関する全庁的な継続調査

市ホームページのリニューアル

2022年12月、三浦市のホームページが全面的にリニューアルされました。デザインとしてはサイト全体の統一感が増したと感じる一方で、個人的にさまざまな課題認識も持っていました。リニューアルから1年が経ち、運用面での課題も見えてきたであろうこのタイミングで取り上げた次第です。

特に課題だと感じているのが、**知りたい情報になかなかたどり着けない**ページ構成のわかりづらさです。現在は担当課内での定期的なチェックが行われていることですが、実際にサイトを利用する市民目線に立つためにも、この部分については職員全体で相互のチェックとフィードバックができるような体制を構築するべきだと要望しました。

自治体ホームページの使いやすさは、**市民生活の質に直結する**だけではなく、市外の方へアプローチの場という意味では**移住政策としても重要**となってくるはずです。運用の工夫でリニューアルの効果を最大化して、より魅力的なコンテンツになることを願います。



三浦市ホームページの
リンクはコチラです！

発言の中での主な要望

1. サイト評価の向上を目指すこと
2. 次回リニューアル時のリンク切れ改善
3. 流動的なSEO評価基準への対応
4. ページの階層構造のわかりにくさは正
5. 課の枠組みを超えた相互チェック体制



昨年生まれた娘もあっという間に
1歳3ヶ月になりました。
子育ての当事者として、
引き続き強い使命感を持って
議員活動に取り組んでまいります。
(うらりのデッキにて)